

日本在宅医療連合学会

第6回

在宅医療インテグレーター養成講座

On line 開催

なぜ「在宅医療インテグレーター」か！

在宅の現場は様々な問題であふれています。必要な医療的サービスやケアを受けながら、患者さんが安心して希望する場所で過ごすために、どうしたらよいのでしょうか。

各専門職は一生懸命関わっているのに、何かうまくいかない・・・

医療的ケアが苦手な福祉職、制度利用が苦手な医療職、どちらの視点も必要だな・・・

患者さんの本当の想いはどこにあったのだろうか、あの支援は本当によかったのだろうか・・・

「連携」といいながら、単につなぐだけになっていないか・・・

こんなことを思ったことはありませんか？

各人が少しづつ知識・視野を広めたら、もっといい関わりができるのではないかな？

と、私たちは考え、この講座を企画しました。

さまざまな課題を抱える複合的な困難事例においては、単に多職種・多事業所を紹介してコーディネート(調整)するだけでは対応できません。医療や制度等を俯瞰する知識をもち、様々な職種や方法をインテグレート(統合)していく役割が必要です。在宅医療インテグレーターはそのような経験とスキルをもつ人材を意味しています。



基礎編：2022年10月15日(土)午後・10月16日(日)終日

応用編：2023年1月8日(日)終日・1月14日(土)午後

●定員80名(定員になりましたら締め切ります)

●受講料(4日間) 学会会員：25,000円 非会員：35,000円

●参加資格 以下3つの条件をすべてクリアすることのできる方

- ① 医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士、介護福祉士、介護支援専門員、相談支援専門員、歯科衛生士等俊て5年以上の実務経験のある方
- ② 申込後に、在宅等での医療にかかわる経験事例(在宅症例・退院支援・入院支援・連携支援等)を事前課題として提出できる方
- ③ 全課程(オンデマンド教材の事前視聴、グループワークへの積極的参加を含む)への出席ができる方

●受講条件 以下2つの条件をクリアすることのできる方

- ① 安定的な通信環境(光回線推奨)とデバイス等をお持ちの方。
 - ・情報処理端末 (A)デバイス パソコンを使用 スマートフォンやiPadは不可
(B)OS Windows8.1以降、Mac OS 10以降
(C)ブラウザ Chrome、Safari、Edge等
 - ・カメラ 付属のカメラ、外付けのカメラいずれか
 - ・イヤホン
- ② パソコンの基本操作ができる方
 - ・ZOOMを使ってオンラインコミュニケーションができる
 - ・youtubeで映像をみることができる
 - ・添付の資料の印刷やWEBアンケートへの回答ができる

申し込み方法と
プログラムは裏面を
ご覧ください



- 主催 一般社団法人日本在宅医療連合学会
- 共催 公益社団法人日本医療社会福祉協会 日本難病医療ネットワーク学会
- 後援 一般社団法人全国訪問看護事業協会 公益社団法人日本看護協会 公益財団法人日本訪問看護財団
一般社団法人日本神経学会 公益社団法人日本介護福祉士会 一般社団法人日本介護支援専門員協会
一般社団法人日本神経治療学会 一般社団法人日本ケアマネジメント学会
一般社団法人日本作業療法士協会 一般社団法人日本言語聴覚士協会 公益社団法人日本理学療法士協会

【お問い合わせ先】 日本在宅医療連合学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7階
TEL&FAX 03-5802-3490 E-Mail: jimukyoku@jahcm.org

●プログラム(仮)(ワーキンググループで開発改良が続いているため変更の可能性があります)

基礎編(仮)

●事前学習(動画視聴)
がん、認知症の基礎知識、社会保障制度総論、意思決定支援、診療報酬 等

●10月15日(土)14時～17時30分(予定)
在宅医療インテグレーター論1
ワーク1 がん

●10月16日(日) 9時～17時(予定)
ワークシートの使い方
ワーク2 難病
ワーク3 認知症
ワーク4 臓器不全(心不全)
まとめ

応用編(仮)

●事前学習
臓器不全、精神疾患の基礎知識
小児在宅医療の基礎知識等

●1月8日(日)9時～17時(予定)
在宅医療インテグレーター論2
ワーク5 複合的な症例1
(精神障害+がん+独居等)
ワーク6 小児在宅医療の実際

●1月14日(土)14時～17時30分(予定)
ワーク7 複合的な症例2
(COPD+認知症)
まとめ

(応用編全日のみ翌年に持越すことが可能です。1日だけの持越しは出来ません)

※テキストは印刷したものを開講日1週間前までにお送りします。その他の追加の配布物がありますが、当日配布資料は、Zoom内で共有いたしますので各自印刷くださいますようお願いください

【修了者の感想】

- ・自分の地域をインテグレートしていくために明日から何をアクションしていくか、地域での自主的な事例検討やお互いの仕事が見える顔合わせ、情報交換、勉強会どんな地域を目指すかを考えることができた。
- ・インテグレーターの役割を地域包括業務で発揮するには医療と介護の連携の推進になると思う、まずは業務内で出来ることをやっていく。
- ・どの疾患の方でもどの段階にあるのかを理解し生活を一緒に考えていくということ。
- ・COPD、認知症、虐待等日ごろ困るケースが多かったので勉強になった。
- ・インテグレーターとしての役割(自分が主体となるわけではなくチームを動かす)を理解できた。
- ・普段の業務に役立つ情報や考え方、視点が沢山あった。
- ・基礎編応用編を日常業務に活かせるよう学び続けていかないとならない。
- ・今後さまざまなケースに対応することがあると思うが、自身のスキルアップの必要があると感じた。

●申し込み手順

- ①日本在宅医療連合学会のホームページから申し込みをしてください。<https://www.jahcm.org/integrator.html>
- ②申し込み受付メールに記載された口座に受講料を振り込んでください。
- ③事前課題があります。申し込み受付メールで詳細をお伝えいたします。
上記②③の完了を持って受講申し込み受付とします。

【お問い合わせ先】 日本在宅医療連合学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7階
TEL&FAX 03-5802-3490 E-Mail: jimukyoku@jahcm.org

